

【補助金情報】

平成24年度次世代型熱利用設備導入緊急対策事業(四次公募)について

平成25年12月13日(金)に「平成24年度次世代型熱利用設備導入緊急対策事業」の四次公募が開始されました。既存の建物にモイストプロセッサを導入する際に、廃棄されている熱エネルギー(廃熱)を利用し省エネルギーを行うことで、本補助金の対象となる可能性がありますので、ご検討の程宜しくお願い致します。補助事業の概要は下記のとおりです。

<制度概要>

(1) 補助対象事業

- 廃熱利用による正味の年間省エネ量が15kl(原油換算)以上、またはエネルギー使用量の1%以上
- 現在は廃棄されている熱エネルギーを活用(大気熱、再生可能エネルギー熱を含まない)
- 廃棄している熱エネルギーの温度帯は300℃以下
- 廃熱温度、エネルギー量、出力エネルギー等を計測・記録するための計量機器を設置
- 従来、回収困難であった廃熱を利用、又は、従来と比べて廃熱回収効率が顕著に向上する技術を活用
- 量産等による価格低減効果が見込まれる技術を活用

(2) 補助対象事業者及び申請単位

- 法人格を有していること、または、地方公共団体。
※ESCO、リースの共同申請も対象

(3) 補助対象経費

- 補助対象となる経費は、設計費、設備費、計測装置費、工事費、諸経費。
※利用する廃熱の変動を吸収するために設置される蓄熱槽も対象

モイストプロセッサは50～60℃程度の熱利用ですので1/2補助に該当します。

(4) 補助率及び補助金限度額

- 補助率1/2以内:熱利用設備入口温度140℃以下の廃温水等を投入する場合
- 補助率1/3以内:熱利用設備入口温度140℃を超え、300℃以下の廃温水等を投入する場合
※1事業あたりの補助金額が100万円未満は対象外

モイストプロセッサ設置後に工事・試運転が必要となりますので、おおよそ11月中頃までの設置が必要です。

(5) 事業期間等

- 交付決定後、平成26年6月30日までに発注先との契約締結。
- 原則、平成26年12月12日までに事業完了(工事終了及び設計・設備・工事業者への支払完了)。
- 事業完了日から30日以内または平成26年12月19日のいずれか早い日までに実績報告書の作成・提出。

(6) 公募期間

- 平成25年12月13日(金)～平成26年3月25日(火)17:00(株)三菱総合研究所必着(持込不可)

その他詳細につきましては、公募要領にてご確認ください。

詳細内容・お問い合わせ ⇒http://www.mri.co.jp/news/press/public_offering/recruit/2013/015185.html

こんな施設はありませんか？

- ◆使用した後の温水・蒸気を廃棄している。
- ◆コジェネを導入しているが作ったお湯を利用できていない。
- ◆旧型のエアコンで効率が悪い。
- ◆etc

(問合せ先)

ダイナエアー株式会社 営業部 TEL:03-3294-4566